



TOUR DE HOKKAIDO

ツール・ド・北海道2010概要

1 はじめに

1987年10月に日本最初のステージレースとしてツール・ド・北海道大会が開催され、今回で24回を迎えました。

第11回大会からは、国際自転車競技連合（UCI）の公認大会として承認され、国際大会としても16回目を迎え、いまや国内有数の国際ステージレースとして発展し、海外からも多数のチームが参加を希望する定評ある大会となり、いわば「ツール・ド・フランス」の日本版でもあります。

競技は、1チーム5人のチーム成績と各個人の成績そして両方を争うステージレースであり、各チームの選手は、団体優勝を狙うのは勿論、チームエースに個人総合時間賞を獲得させようと様々な作戦でレースを展開します。

2 ツール・ド・北海道2010

本年の「ツール・ド・北海道2010」は、道南・道央地域を中心に9月16日（金）から19日（月・祝）までの4日間、開催することになりました。

過去の道南コースは、これまでも6回開催しておりますが、前回は第21回大会（2007年9月13日～17日までの5日間）で、3年振りの開催となります。

★ 初日は、函館市（市営函館競輪場）において開会式を兼ねプロローグとして競輪場バンクにおいて個人タイムトライアルの競技を行います。



（1周400km×2）

★ 大会期間中、4ステージを設けて各競技を行います。ロードレースは、北斗市～寿都町、倶知安町ひらふスキー場～（ニセコ高原山麓周辺）～倶知安町ひらふスキー場、そしてロード最終日は、室蘭市から支笏湖畔を経て恵庭市の陸上自衛隊南恵庭駐屯地構内にてゴールします。大会最終日は、昨年同様、札幌市モエレ沼公園の特設コースでクリテリウムを行い、全ての日程を終えます。関係自治体は25市町村となり、総走行距離は636Kmになる見込みです。

以下、各競技の概要は、次のとおりです。

3 各ステージの概要

- 9月16日(木) 13時30分～17時30分
市営函館競輪場で開会式を行う。その後プロローグとして個人のタイムトライアル(1周400^m×2)の競技を行う。
- 第1ステージ 9月17日(金)
大会2日目となる第1ステージは、北斗市(総合運動公園前)から寿都町(風太公園前)までの218キロのロードレースをスタートします。
- 第2ステージ 9月18日(土)
倶知安町ひらふスキー場前駐車場からスタートし、ニセコ高原山麓周辺から、共和町、真狩村、豊浦町、留寿都村等を経てもとのスタート地点に戻る186kmのコースです。
- 第3ステージ 9月19日(日)
室蘭市入江総合運動公園からスタートし、国道36号室蘭新道を走り、登別市からオロフレ峠、支笏湖畔を経て恵庭市の陸上自衛隊南恵庭駐屯地構内にてフィニッシュする169kmのコースです。
- 第4ステージ 9月20日(月・祝)
昨年と同様に札幌市モエレ沼公園の特設コースを周回する1周4.17kmのコースで、15周63kmのクリテリウム競技となります。

4 本大会におけるステージの特徴

- プロローグ
2001年第15回大会以来、9年振りの函館市でのプロローグとなります。しかも函館競輪場内で開会式を兼ねプロローグは初めてで、競輪場バンク内1周400^mを2周800^mの個人タイムトライアルを行います。
また、一般観客も開会式ともに2階観覧席において観戦でき競技を楽しむことができます。
- 第1ステージは、北斗市(旧上磯町)の総合運動公園からスタート、アップダウンの少ない平坦な日本海の海岸線国道をひたすら走り続けますが、走行距離が210kmを超え、1987年の第1回大会以来初めての最長距離レースであり、日本海側から吹き付ける横風を受けながらのレースとなるが、天候が良ければ快適コース、悪天候になれば最悪のこ



ースになる。

- 第2ステージは、リゾート地帯として注目を浴びているニセコ高原の山麓地帯から除々にアップダウンの激しい山岳コースへと移り、留寿都村、真狩村を経てスタート地点のひらふスキー場駐車場前にフィニッシュしますが、雄大な北海道の大自然を大いに堪能しながらレースを展開するコースです。
- 第3ステージは、室蘭市の入江総合運動公園から国道36号「室蘭新道」を走行、登別市幌別から市役所前を通過し、43.2km地点の標高940mの最初の山岳ポイントであるオロフレ峠へと向かう。オロフレ峠から一気に国道を壮瞥町、伊達市の大滝区を疾走し、再び山岳コースである美笛峠に向かう。そして峠を下った後、支笏湖畔を経て漁川ダムのある恵庭岳公園線から恵庭市へと向かう。今回の大会は、陸上自衛隊南恵庭駐屯地の協力を得て、同駐屯地敷地内の直線コースを使用してフィニッシュします。一般の観客も構内での観戦、応援は出来ますので、是非、応援をお願いします。
- ◎ 参加チームは、いまのところ海外、国内登録（学生チームを含む）合計20チーム、100名の選手が参加予定されています。

4 市民レース

今年の市民レースは、9月18日（土）、倶知安町総合体育館前においてタイムトライアルを行い、翌日の19日（日）には、ロードレースを2コースに分けてスタートします。伊達市大滝区大滝中学校前からはAコース96km、そして千歳市支笏湖温泉湖畔駐車場からは、Bコース、50kmになります。

フィニッシュは、第3ステージと同じく恵庭市の陸上自衛隊南恵庭駐屯地構になります。

また、20日（月、祝日）の最終日は、昨年と同様に札幌市モエレ沼公園特設コースで小学生クラスも参加するクリテリウムを開催します。

今年の市民参加数は、約1、185人程度を予定しております。

以上